

2008年5月10日

ワークショップ No.27 参加者各位

日本学術振興会  
プロセスシステム工学第143委員会  
委員長 長谷部 伸治  
ワークショップ No.27 代表者  
京都大学大学院工学研究科准教授  
加納 学

プロセスシステム工学第143委員会  
ワークショップ No.27・第7回研究会開催通知  
(<http://ws27.pse143.org/>)

1. 日 時：2008年6月10日 (火) 12:30～16:30 研究会  
17:30～19:30 懇親会
2. 場 所：京大会館 102号室  
(京都市左京区吉田河原町 15-9) (参考 <http://www.kyodaikaikan.jp/index.shtml>)  
JR京都駅から市バスで30分程度。または地下鉄烏丸線で丸太町駅まで行き、そこからタクシーかバスを利用されるのが便利です。
3. 内 容：
  - 12:30-13:30 講演：「コントローラ設計の周波数領域からのアプローチ」  
重政 隆 氏 (東芝三菱電機産業システム)  
直感がなかなか働かないので敬遠されがちであるが、感度関数や相補感度関数など周波数領域の性質から制御構造などへの情報が見られるように思う。また最大感度に着目した制御系設計方法を紹介したい。
  - 13:30-14:30 講演：「閉ループシステム同定が可能なプロセス制御用ツール"MECTUNR"の紹介」  
津田 篤 氏 (三菱化学エンジニアリング)  
三菱化学エンジニアリング(株)が開発した、開ループ/閉ループシステム同定・PIDパラメータ設定・シミュレーションが可能なパッケージソフトウェアである"MECTUNR"を紹介し、使用したシステム同定技術について解説する。
  - 14:30-14:50 休憩
  - 14:50-15:50 講演：「化学プラントの制御性能監視」  
西澤 淳 氏 (三菱化学)  
80年代から導入した高度制御システムのメリットを継続的に獲得するための、PID制御、高度制御の性能監視、診断に関する三菱化学の取組みについて、独自に開発したシステムを中心に紹介する。
  - 15:50-16:20 講演：「プロセス特性変化に対応可能なソフトセンサの設計法：相関型 JIT 法」  
加納 学 (京都大学)  
ソフトセンサの一設計法である相関型 Just-In-Time 法とその実データによる検証結果を紹介し、設計と保守の観点から実用可能性と課題について討議する。
  - 16:20-16:30 その他 (次回研究会について)

[その他]

- ・ 準備の都合がありますので、5月19日（月）までにご出欠についてご連絡下さい。
- ・ 懇親会費として3000円を徴集させていただきます。

[出欠連絡先]

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 加納 学

E-mail: [manabu@cheme.kyoto-u.ac.jp](mailto:manabu@cheme.kyoto-u.ac.jp)